

## 令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

| I 自己評価   |   |                              | 岐阜県立中津川工業高等学校  |                 | 学校番号                        | 55          |
|--|---|------------------------------|--|-----------------|-----------------------------|-------------|
| 1 学校教育目標   | 1 明朗で健康な心身を育成する (健康にして明朗、友愛に満ちた教養ある社会人となるべき資質を養う。)<br>2 自主創造性の伸長を図る (自ら考え判断し、表現する力を身につけ、創造性の基礎を培う)<br>3 誠実で勤労を愛する態度を養う (専門的な知識・技能に習熟し、勤労を尊び、誠実にことにあたる人材を育成する)<br>4 自然を愛する豊かな心を育てる (自然を愛し、生命を尊重するとともに、相手を思いやる心や社会性を養う) |                              |  |                 |                             |             |
| 2 現状の分析  | ○卒業生が社会や企業で信頼され活躍してくれているため、毎年多くの求人をしていただいている<br>▲本校には、卒業後の進路や資格・技術の習得など自負できることが多くあるが、生徒の募集に繋がらない  |                              |  |                 |                             |             |
| 3 学校の抱える課題   | ・生徒の多様性により、個々に対応しなければならない課題が多くなっている<br>・本校を志望する生徒が定員を満たさない  |                              |  |                 |                             |             |
| 4 今年度の具体的な重点目標   | ◇「わかる授業」、「達成感を味わう授業」など魅力ある授業展開と適切な評価。<br>◇生徒一人一人を理解した生徒指導<br>◇キャリア教育の観点からの進路指導キャリア教育  |                              |  |                 |                             |             |
| 年 度 目 標  |   |                              | 年 度 末 評 価  |                 |                             |             |
| 5 評価項目<br>領域・分野  | 6 重点目標の達成に必要な<br>具体的取組・方策   | 7 達成度の判断・判定基準<br>あるいは評価指標    | 8 取組状況・実践内容<br>評価項目の達成状況等  | 9 評価<br>A・B・C・D | 10 成果と課題                    | 11 総合<br>評価 |
| 教務   | ①ICTの活用・少人数・習熟度<br>別編成により、個々の生徒が着実に理解できる授業展開を目指す  | ①生徒・保護者アンケートによる評価及び生徒による授業評価 | ①ほとんどの職員がICTを活用した授業を実施している。生徒の活用については、今後も課題となる   | B               | ○ICTの活用により分かりやすい授業の実施はできている | A<br>B      |
|  | ②朝学習や個別指導を実施し、基礎学力の定着を図る  | ②数学及び工業科目における計算能力の向上         | ②各学科を主体にマナトレを実施  | B               | ▲生徒の多様化により、学力差ができています       |             |
| 生徒指導   | ①人権教育(いじめアンケート実施を含む)  | ①いじめアンケート結果分析                | ①いじめアンケートの実施と活用  | B               | ○職員間で情報共有し学校として対応できた        | C<br>D      |
|  | ②教育相談週間を含む相談活動  | ②面談で得た情報の共有ができたか             | ②教育相談週間及び担任面談の実施   | B               | ▲いじめの未然防止に努めたが例年より多く対応した    |             |
| 進路指導   | ①生徒の発達段階に応じたキャリア教育の推進   | ①生徒・保護者アンケートによる評価            | ①各種ガイダンスの実施  | A               | ○就職希望者100%内定をいただくことができた     | A<br>B      |
|  | ②家庭や地域社会との連携  | ②生徒・保護者アンケートによる評価            | ②保護者や企業に向けた情報発信  | B               | ▲インターシップなど対外的な行事が実施できなかった   |             |
| II 学校関係者評価   |   |                              | 12 来年度に向けての改善方策案   |                 |                             |             |
| 実施年月日：令和4年3月7日   |   |                              |  |                 |                             |             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の見学や説明を受け中津川工業高校の良さが分かったが、進学を希望する生徒が定員を満たさないのは残念。その良さをどう発信していくかが大切。</li> <li>・コロナ禍で学校行事の対応が大変だったと思う。コロナは終わらないため、コロナを前提とした改革を進めて欲しい。</li> <li>・学校づくりを生徒と共に考える機会を設定していくことも一案では。</li> <li>・入学し卒業したら、本校卒業を一生誇りに思ってくれるといい。</li> </ul> |   |                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの影響で授業だけでなく部活動、行事等に大きな影響があった。今後、目に見えないストレスは様々な場面にあらわれてくるため、各職員が生徒の変化に注視していく必要がある。</li> <li>・コロナ禍における学校PRについて、再度検討していく。</li> </ul> |                 |                             |             |